

令和7年度 庚午未来会議 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

- (1 事業目) 今年度は広報用のリーフレットを更新・回覧板に常時添付し、庚午書庫への理解度や認知度が上がった。また、未来に残す地域情報の保存を継続できている。
- (2 事業目) 拠点を利用したミニイベント・カフェ・ワークショップを実施し、多世代交流を図ると共に拠点利用の促進、認知度が上がった。
- (3 事業目) 庚午地区体育協会50周年記念事業の支援を実施し、庚午地区のスポーツを通じた交流・健康づくりを図った。
- (4 事業目) 庚午地区の秋祭りを支援し、地域の祭りを通じた住民交流促進を図った。
- (5 事業目) 庚午中学校生徒の参加が増加し、地域の祭りを通じた住民交流促進を図った。
- (6 事業目) 庚午中学校生徒の参加が増加し賑わいが生まれた。
- (7 事業目) 整備されたブルーベリー農園を活用してイベントを実施した。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	庚午書庫	(7) 事業中(1) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	庚午小学校区	
(3) 参加者数	1000 人	
(4) 主催団体	団体名 庚午未来会議 innovationA 庚午書庫	
4 取組内容		
失われつつある庚午の歴史資料を未来へ残す為、町内に書庫（庚午中央会館2階）を整備した上で、町内会を通して広く地域住民に声を掛け、個人所有の庚午の過去資料を保存した。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 デジタル資料の劣化により損失していく記録も多い昨今ではあるが、紙ベースの資料も特に個人所有のものは時代とともに廃棄されてく事が予想される。未来に残す地域情報の保存を継続したい。		
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ・地域の歴史資料を保存することで、地域を知る機会損失を防ぐことができた。 ・今後も継続していくことにより、地域史への興味を抱かせ、地域への愛着を深める効果が期待できる。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	拠点を利用した地域交流（拠点イベント）	(7) 事業中(2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日	
(2) 実施場所	庚午未来会議事務所	
(3) 参加者数	60 人	
(4) 主催団体	団体名 庚午未来会議	
4 取組内容		
拠点を利用したミニイベント・カフェ・ワークショップを企画し、多世代交流を図ると共に拠点利用の促進、認知度向上を目指した。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 拠点を利用したミニイベント・カフェ・ワークショップを実施し、多世代交流を図ると共に拠点利用の促進、認知度向上		
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ウクレレ同好会(新規立ち上げ)支援として拠点を開放、短期間で多くの方に参加頂いており、順調な拡大を続けている。（定期開催） また、ワークショップとして、しめ縄リース製作を開催した。 これらは地域アプリで情報発信され、今後の拡大につなげる予定である。 また、防災士会による防災カフェの開催・各種地域団体の会議場所としての利用が広がっている。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	スポーツを通じた交流・健康づくり	(7) 事業中 (3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	12 月より	
(2) 実施場所	庚午未来会議事務所	
(3) 参加者数	<u>150</u> 人	
(4) 主催団体	団体名 <u>庚午学区体育協会</u>	
4 取組内容	・体育協会の取組を支援することでスポーツを通じた地域住人の健康づくりに寄与した。 ・庚午学区体育協会の50周年記念として開催されるイベント支援 今年度は各クラブ（ソフト・バレー・卓球等）による準備委員を立ち上げ、記念誌編集作成及び記念品が作成された部分を支援した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	庚午学区体育協会の活動を支援することで庚午地区のスポーツを通じた交流・健康づくりを図る。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	通常では異なる時間帯で活動する団体での目的を持った交流が図られることでの一体感が醸成され、情報交換が広がり、各種活動の人的参加者増加の効果が生まれている。これらは、庚午学区体育協会が直接運営を行うスポーツ事業だけでなく、校庭開放委員会に属する、従来ではあまり地域と接点を持っていなかった団体も参加している。次年度は、記念講演も予定され、更なる交流促進を図る中で、スポーツを通じた健康づくりを推進していく予定である。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	秋季例大祭	(7) 事業中 (4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年10月18日～19日	
(2) 実施場所	庚午小学校区全域	
(3) 参加者数	2000人	
(4) 主催団体	団体名 庚午地区町内会（主管：秋季例大祭実行委員会）	
4 取組内容		
庚午地区の秋祭り支援 多世代が一堂に会する行事であるため、継承と改革は常に表裏一体となる。 それらを纏め、継続性と発展を両立させる取組を行った。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(2) 目的 庚午地区の秋祭りを支援し、地域の祭りを通じた住民交流促進を図る。 (3) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 引き続いての取組みとして、庚午未来会議において庚午神社総代会・学区子ども会・俵みこし実行委員会との連携協議を継続した。 活動の一体化が図られていく認識は徐々に高まっている。 世最適には本年度も、餅撒き菓子撒きを支援、昨年同数を準備したが集客が増したため数量を増やす検討もしている。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	庚午とんど祭り	(7) 事業中(5) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(5) 実施期間	令和8年1月10日～11日	
(6) 実施場所	庚午中学校グラウンド	
(7) 参加者数	1000人	
(8) 主催団体	団体名 庚午地区町内会/庚午中学校（主管：庚午とんど祭実行委員会）	
4 取組内容		
庚午地区のとんど祭り支援 祭りを通じた住民交流促進・中学生に地域活動に参加してもらうことで、将来の地域の活動に参加に興味を持たせた。（※大人と子どもが協力して企画から運営を行った）		
5 目的・効果	（事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。）	
(4) 目的 地域で行っていた祭りを若年層の地域参加につなげる。		
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 庚午中学校生徒の参加が増加し賑わいが生まれた。 地域住民においても、若年世代が参加する事での活性化を感じる事が出来ている。 本年度も昨年度に引き続き、防災観点より広島市消防局による、はしご車救出訓練が行われ好評を得ている。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	庚午こども議会	(7) 事業中 (6) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(9) 実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	
(10) 実施場所	庚午小学校区	
(11) 参加者数	15 人	
(12) 主催団体	団体名 庚午未来会議 innovationA 庚午こども議会	
4 取組内容	子どもの意見を街づくりに生かすプランとして始動 今年度も中学生を主体として構成し、教育的観点より、広島市市議会の見学も取り入れた。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。) (5) 目的 地域活動に参加する子どもの数が減少する中、自分の住む地域を考えたり、地域課題の調査・議論するという経験を通して、地域に関心を持つ貴重な機会とする。 (6) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 複数回、話し合いの場を設け活動域の模索中である。 今年度は中学生の意見を取り入れ、地区マスコットキャラクターのティッシュを作成。 市議会見学は多数の生徒が参加した。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	農作物（ブルーベリー）づくりを通じた地域住民の交流促進事業	(7) 事業中 (7) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	庚午中2丁目（庚午ブルーベリー農園）	
(3) 参加者数	400 人	
(4) 主催団体	団体名 庚午ブルーベリーストーリー（innovationB）	
4 取組内容	地域規格で整備されたブルーベリー農園を活用して、住民同士の交流促進を支援した。 ・栽培から収穫物の活用まで行った。	
5 目的・効果	（事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。）	
(1) 目的 整備されたブルーベリー農園でのイベントを行う (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 栽培においての交流に留まらず、ブルーベリーを使ったジュースを作り、 庚午地区の広報も含め、他地区へも出店している。 交流の幅は今後も広げる予定となっており、庚午中学校生徒の参加も予定されている。		

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容
		アイテムを選択してください	
		該当なし	